



創造・参加・実践

## West・Bus News

西日本旅客鉄道労働組合  
西日本 JR バス地方本部  
〒530-0012  
大阪市北区芝田2丁目1番18号西阪急ビル8F  
TEL (NTT) 06-6373-0315  
email bus@jrv-union.jp  
発行責任者 矢田 尊弘  
編集責任者 細川 由紀夫

## 2026年 謹賀新年



新しい年を迎えご挨拶を申し上げます

新年あけましておめでとーいございます  
組合員の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、健やかに2026年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、西バス地方本部の諸活動に対し、格別のご理解とご支援を賜りましたことに、深くお礼申し上げます。

◆能登半島地震から2年、復興は道半ば  
2024年元日に発生した「令和6年能登半島地震」から、まもなく2年を迎えます。被災地域では、住宅の再建や基盤インフラの復旧がなお十分とは言えず、生活再建への道りは依然として厳しい状況にあります。改めて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

◆万博輸送をはじめ、地域交通の重要性が顕在化した1年  
2025年は、大阪・関西万博の開催準備を軸に、地域輸送・観光輸送に対する社会的関心が一段と高まった1年でした。人流の回復が進む一方で、深刻な運転士不足や現場の高齢化など、バス産業の課題は一層明確となりました。こうした状況下でも、組合員一人ひとりが輸送の安全とサービスの維持・向上に尽力されました。その取り組みに、あらためて敬意を表します。さらに大阪・関西万博の無事故完遂と組合員の献身的な努力に報いる措置として、一律10万円の年末一時金の支給がされました。

◆労使の取り組みで万博輸送体制が前進  
万博輸送に向けた体制整備では、長時間労働の是正、勤務計画の精度向上、休憩環境の確保など、現場実態に即した改善が求められてきました。労使協議を積み重ねる中で、安全最優先の輸送体制が徐々に整い、社会的信頼の確立にもつながっています。

◆中間決算は増収増益、組合員の努力が結実  
2025年度中間決算では、営業収益が前年同期比で約3億円増、最終利益は2億円以上の増益となり、着実な経営改善が確認されました。これは構造改革の成果であると同時に、厳しい状況下でも現場を支え続けた組合員の皆様の努力の結晶であります。

◆2025春闘の成果「人財への投資」が着実に前進  
2025春闘では、若年層および60歳以降の処遇改善に重点を置き、昨年に続くベースアップ1,000円、年間給与4.7箇所（年末一時金を合わせると5.11相当）を確保しました。これらは、長期にわたる我慢を強いられてきた現場の声に応える重要な成果であり、「人財への投資」の具体化に向け、労使協調の意義を示すものとなりました。

◆2026春闘賃上げの継続・底上げの定着へ  
これらの成果を一過性でせず、2026春闘では「賃上げの継続」「底上げの定着」「離職防止と人財確保」「働き方改革の深化」を柱に掲げ、さらなる処遇改善をめざさねばなりません。

物価高が続くなか、実質賃金の上昇と生活の安定、働きがい向上を実感できる水準の確保は労働組合の責務です。春闘は、労働組合の意義を社会に示す重要な闘いです。すべての組合員が職場から声を寄せ、仲間の思いを力に変えて、全員参加型の2026春闘を構築していきましょう。

◆構造改革から「成長への転換期」へ  
これまで会社の再建をめざし、減便・減車、ダイヤ見直し、職場再編など、痛みを伴う構造改革を労使で進めてきました。その中で、地域交通を守るという使命のもと、現場を支えてきたのは組合員の皆さんに他なりません。これからは、持続可能な働き方の確立、次世代人財の育成、バス産業全体の価値向上に向けた新たな取り組みが求められます。

◆人財確保は最重要課題  
運転士・整備士の確保は喫緊の課題です。緊急異常事態と言っても過言ではありません。コロナ禍以降、離職者の増加や他産業との採用競争が激化する中、待遇改善と労働環境整備は急務です。労使で「人財確保プロジェクト」を強化し、処遇改善、労働時間の適正化、休暇取得の促進など、現場から信頼される制度づくりを引き続き進めてまいります。

「将来に希望を持てる、誇りあるバス産業」の確立に向け、次世代へ引き継ぐ土台づくりを進めます。

◆2026年は「安全再構築の年」  
安全の確立は輸送産業の原点であり使命です。2025年は福知山線列車事故から20年の節目に当たり、昨年にも、携帯電話操作による事故など、基本ルール逸脱という事象が発生しました。

◆組織活動の再活性化  
コロナ禍を経て、仲間同士の交流が再び広がっています。昨年2月の「JR京都駅ビル大階段駆けあがり大会」、4月のボウリング大会では多くの仲間が参加し、つながりを深めました。こうした横断的な交流は組合運動の原点であり、活動を支える力です。引き続き、地域ごとに多様な取り組みを展開し、「この組合に入ってよかった」と実感できる組織づくりを進めます。

◆政策実現へ推薦候補の完全勝利に向けて  
第27回参議院選挙におきましては、西バス地方本部が支援した候補者を含め、JR西労組推薦の多くの候補者が当選を果たし、大きな成果を挙げることができました。ご支援いただいた組合員の皆様に、心より感謝申し上げます。また今後予定される各選挙においても、私たちが推薦する候補者全員の勝利に向け、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。さらに、「交通政策をすすめる会」への加入促進を通じて、公共交通を支える政策課題の解決に向けた取り組みを一層進めてまいります。

2026年は、更なる高速線輸送・一般線・観光輸送に加え関連事業など多様な局面で私たちの役割が問われる1年となります。社会が大きく動く時代だからこそ、現場の最前線での確かな輸送と安心を届ける存在であり続けることが重要です。

最後に、組合員並びにご家族の皆様が健康で充実した一年を過ごされたいことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

西バス地方本部  
(ご案内)「共済担当者会議」  
「安全を誓う新春の集い」日時:2026年1月26日(月)  
時間:13:15~  
場所:サード・プレイス弥生西日本旅客鉄道労働組合  
西バス地方本部 役職員

執行委員長 矢田 尊弘

副執行委員長 下橋 勇太

副執行委員長 黒田 真吾

書記長 笹井 紀幸

書記次長 永易 正嗣

執行委員 織田 豊

執行委員 山口 裕之

執行委員 清水 智裕

執行委員 細川由紀夫

執行委員 岸田 剛

執行委員 佐伯 尚美

執行委員 増田 浩之

執行委員 古川 壘

執行委員 上窪 輝

特別執行委員 岡田 将馬

会計監査員 荒木 寛之

会計監査員 山口 将弘

職員 富原 千佳

支部職員 立壁 知里

本年もよろしく  
お願いいたします